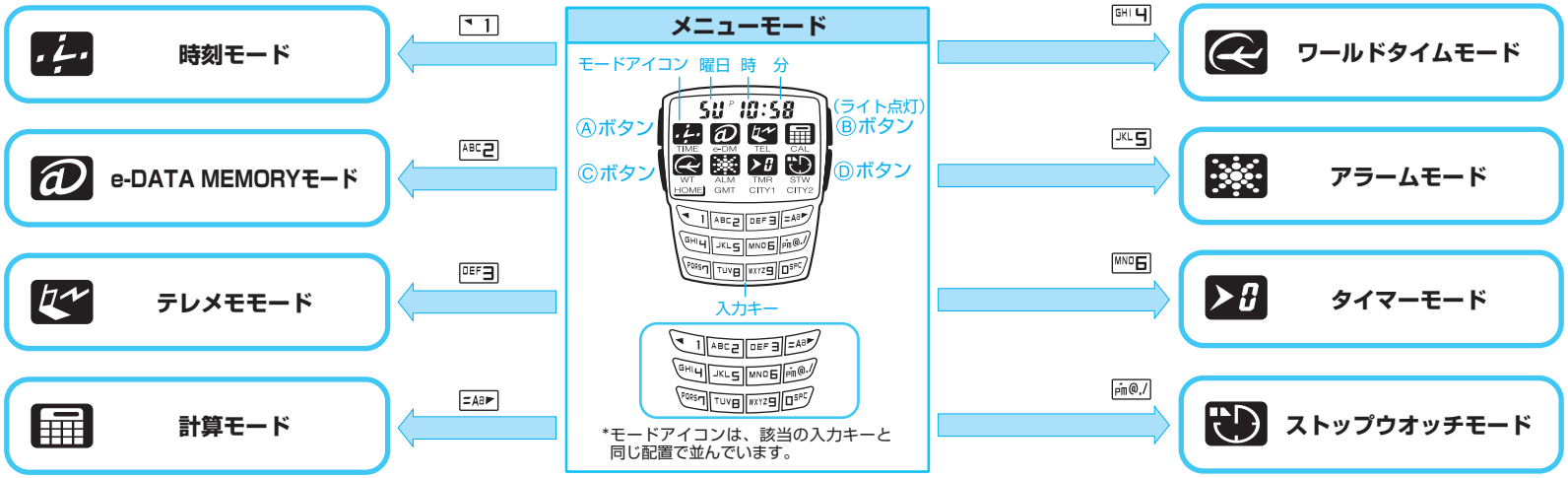
操作のしくみと表示の見方　詳しい使い方は、各項目をご覧ください。

メニューモードのとき各入力キーを押すと、モードが切り替わります。
※メニューモードに戻すには、Ⓒボタンを押します。
※e-DATA MEMORYモード、テレメモモード、アラームモードのまま２～３分すると、自動的にメニューモードに戻ります。計算モードのまま６～７分すると、自動的にメニューモードに戻ります。

※モード切替などを行なうと操作確認音が鳴ります。この操作確認音は消すこともできます。
*「■操作確認音のON／OFF設定」参照。



ライト点灯について

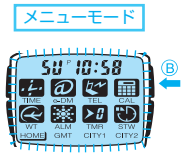
本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して発光させる
～手動発光～

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、

Ⓑボタンを押します

➡約２秒間文字板が発光します。
※オートライトのON／OFFにかかわらず、Ⓑボタンを押すと発光します。



■時計を傾けて発光させる
～オートライト機能～

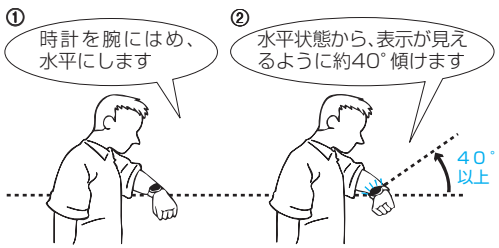
オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。
オートライト機能では、どのモード（修正中も含む）のときでも、時計を傾けるだけで文字板が約２秒間発光します。

準備：**メニューモードまたは時刻モードのとき、Ⓓボタンを約１秒間押し続けて、オートライトON（AUTO点灯）にします。**

※オートライトONのとき、Ⓓボタンを約１秒間押し続けるとオートライトOFF（AUTO消灯）に戻ります。
※オートライトのON／OFF設定は、メニューモードまたは時刻モードのときのみ行なえます。



●文字板を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を**「左手首の外側」**にくるようにつけてください。
※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



〈EL発光についてのご注意〉
- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

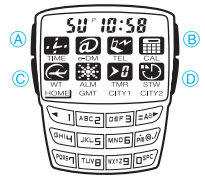
〈オートライトご使用時の注意〉
- オートライトが作動するのは、"AUTO"を点灯させてから**約６時間**です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に"AUTO"が消え、オートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓓボタンを約１秒間押し続けて"AUTO"を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約２秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。
※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

デモ機能について

本機は工場出荷時に「デモ（デモンストレーション）機能」に設定してあります。
デモ機能では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。
※デモ機能中はライト点灯以外の通常のボタン操作はできません。

●デモ機能の解除
Ⓑボタン以外のいずれかのボタンまたは入力キーを押します。

●デモ機能の設定
Ⓒボタンを約３秒間押し続けます。



メニューモードについて

以下の操作はメニューモードで行ないます。

メニューモードでは、以下の操作を行なうことができます。

- ●他のモードへ切り替えることができます。
- ●表示上部にホームタイム（基本時刻）または他の都市の時刻を表示させることができます。
- ●操作確認音の ON／OFF 設定ができます。

■ モード切り替え

以下の入力キーを押すと、モードが切り替わります。
※メニューモードに戻すには、Ⓒ ボタンを押します。

入力キー	モードアイコン	モード
1		時刻モード
2 ABC		e-DATA MEMORYモード
3 DEF		テレメモモード
4 GHI		計算モード
5 JKL		ワールドタイムモード
6 MNO		アラームモード
7 PQRS		タイマーモード
8 TUV		ストップウオッチモード

●時刻を切り替える

以下の入力キーを約1秒間押すと、時刻が切り替わります。
※該当のタイムゾーンインジケーターに“▁▁”マークが点灯します。

入力キー	インジケーター	表示する時刻
7 PQRS	HOME	時刻モードで設定しているホームタイム都市の時刻（基本時刻）
8 TUV	GMT	世界標準時（GMT）の時刻
9 WXYZ	CITY1	時刻モードでCITY1に設定している都市の時刻
0 SPC	CITY2	時刻モードでCITY2に設定している都市の時刻

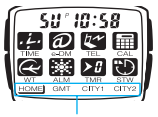
* ホームタイムデータの合わせ方については「■ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。

* CITY1 と CITY2 の設定については「■CITY1 と CITY2 の設定」参照。

■ 時刻表示について

メニューモードでは、表示上部にホームタイムまたは他の都市の時刻を表示させることができます。

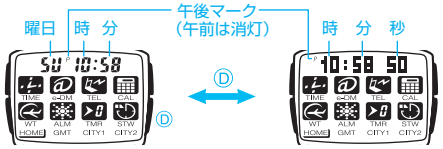
※メニューモードに切り替えた直後は、ホームタイムが表示されます。



●表示内容を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。



★曜日の見方

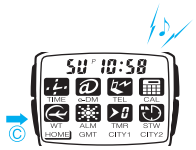
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水
TH：木　FR：金　SA：土

■ 操作確認音の ON／OFF 設定

本機は、モード切替、計算時のキー操作などを行なうと操作確認音が鳴ります（操作確認音 ON）。
この操作確認音は消すこともできます（操作確認音OFF）。

Ⓒ ボタンを押します

➡操作確認音の ON／OFF が切り替わります。
※Ⓒ ボタンを押したとき、電子音が鳴った場合は ON で、鳴らなかった場合は OFF となります。



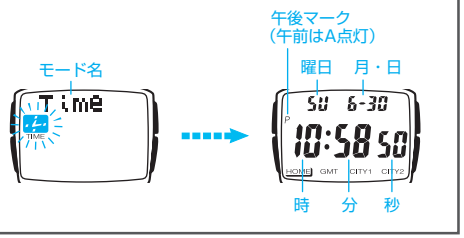
ご注意

- ●操作確認音の ON／OFF にかかわらず、ストップウオッチモードでは操作確認音が鳴ります。
- ●各モードからメニューモードへ戻るとき、Ⓒ ボタンを2度押すと、操作確認音の ON／OFF が切り替わってしまいますのでご注意ください。

時刻モードについて

以下の操作は時刻モードで行ないます。

メニューモードのとき、1 キーを押して時刻モードにします。



時刻モードでは、ホームタイム（基本時刻）または他の都市の時刻・カレンダーを表示させることができます。

※時刻モードに切り替えた直後は、ホームタイムが表示されます。

■ 時刻を切り替える

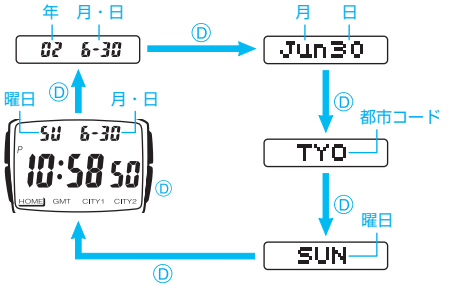
以下の入力キーを約1秒間押すと、時刻が切り替わります。
※時刻を切り替えた直後、都市名が表示されます。
※該当のタイムゾーンインジケーターに“▁▁”マークが点灯します。

入力キー	インジケーター	表示する時刻
7 PQRS	HOME	時刻モードで設定しているホームタイム都市の時刻（基本時刻）
8 TUV	GMT	世界標準時（GMT）の時刻
9 WXYZ	CITY1	時刻モードでCITY1に設定している都市の時刻
0 SPC	CITY2	時刻モードでCITY2に設定している都市の時刻

■ 表示内容を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに表示内容が以下の順で切り替わります。



★月の見方

Jan：1月　Feb：2月　Mar：3月
Apr：4月　May：5月　Jun：6月
Jul：7月　Aug：8月　Sep：9月
Oct：10月　Nov：11月　Dec：12月

★曜日の見方

SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

■ ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等をセットすることです。
電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の方法で合わせてください。

準備：7 PQRS キーを約1秒間押して、ホームタイム表示にします。

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します



➡「秒」が点滅します。

2.「秒」合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの調整

時報に合わせて 0 SPC キー押します



➡00秒からスタートします。
※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって00秒からスタートします。

* 時報は「時報サービス117番」が便利です。

3. サマータイムの ON／OFF を設定する

Ⓒ ボタンを押します

➡“On”または“Of”が点滅します。



1 または=AB▶キーを押します

➡1または=AB▶キーを押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

* サマータイムについては「■サマータイム（DST）について」参照。

※ On＝サマータイム ON（夏時間）
Of＝サマータイム OFF（通常時間）

※ サマータイムをONにすると、DSTマークが点灯します。

4. ホームタイム都市を設定する

Ⓒ ボタンを押します

➡「都市名」と時刻が点滅します。

※ 都市名が 6 文字以上のときは、右から左へ流れて表示されます。



1 または=AB▶キーを押します

➡1または=AB▶キーを押すごとに都市名が切り替わります。

* 「■都市一覧」参照。

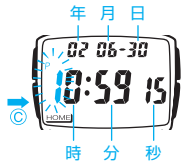
※ 以下の入力キーを押すと、特定の都市へジャンプします。以後、1または=AB▶キーで都市をサーチしていきます。

ABC2=ABUDHABI	DEF3=DAKAR
GHI4=GMT	JKL5=JAKARTA
MNO6=MADRID	PQRS7=PANAMA
TUV8=TAIPEI	WXYZ9=WARSAW

5.「時」のセットにする

Ⓒ ボタンを押します

➡10 時台が点滅します。



6.「時・分・年・月・日」をセットする

入力キーで、セットしたい時・分・年・月・日を入力します

➡入力キーを押すと、そのキーに印刷されている数字が表示されます。

※ 入力キーを押して数字を表示させると、点滅箇所が右に 1 つ移動します。



例）2002 年 7 月 11 日　8 時 25 分…「0825020711」

0SPC TUV8 ABC2 JKL5
0SPC ABC2 0SPC PQRS7 1 1

※「年」は 2000～2099 年の範囲内でセットでき、西暦下 2 桁を入力します。

※曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

★12／24 時間制表示切り替え

表示が点滅しているとき、Ⓑボタンを押すごとに12時間制表示(午前A／午後P)と24時間制表示とが切り替わります。

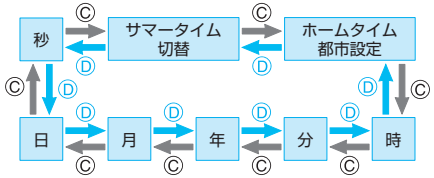
※時刻モードが24時間制のときは、他のモードで表示される時刻も 24 時間制で表示されます。

★午前／午後切り替え

12 時間制表示の場合は、「時・分・年・月・日」が点滅しているときに0@./キーを押すと、午前（A）／午後（P）が切り替わります。

★入力を間違えたときは…

Ⓒ またはⒹ ボタンを押すと、点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、合わせたい箇所を点滅させ、正しい数字を入力します。



7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■CITY1 と CITY2 の設定

CITY1 と CITY2 には任意の都市を設定することができ、メニューモードと時刻モードで設定した都市の時刻を見ることができます。

準備：CITY1 を設定するときは、WXYZ9キーを約 1 秒間押して、CITY1 表示にします。
CITY2 を設定するときは、0SPCキーを約 1 秒間押して、CITY2 表示にします。

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します



➡「都市名」と時刻が点滅します。

※ 都市名が 6 文字以上のときは、右から左へ流れて表示されます。

3. サマータイムの ON／OFF を設定する

Ⓒ ボタンを押します

➡“On”または“Of”が点滅します。



1 または=AB▶キーを押します

➡1または=AB▶キーを押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

* サマータイムについては「■サマータイム（DST）について」参照。

※ On＝サマータイム ON（夏時間）
Of＝サマータイム OFF（通常時間）

※ サマータイムをONにすると、DSTマークが点灯します。

★12／24 時間制表示切り替え

表示が点滅しているとき、Ⓑボタンを押すごとに 12 時間制表示（午前 A／午後 P）と 24 時間制表示とが切り替わります。

※時刻モードが24時間制のときは、他のモードで表示される時刻も 24 時間制で表示されます。

2. 都市を選ぶ

1 または=AB▶キーを押します



➡1または=AB▶キーを押すごとに都市名が切り替わります。

* 「■都市一覧」参照。

※ 以下の入力キーを押すと、特定の都市へジャンプします。以後、1または=AB▶キーで都市をサーチしていきます。

ABC2=ABUDHABI	DEF3=DAKAR
GHI4=GMT	JKL5=JAKARTA
MNO6=MADRID	PQRS7=PANAMA
TUV8=TAIPEI	WXYZ9=WARSAW

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

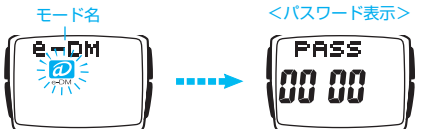
➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

e-DATA MEMORY の使い方

以下の操作は e-DATA MEMORY モードで行ないます。

メニューモードのとき、[ABC 2] キーを押して e-DATA MEMORY モードにします。



e - DATA MEMORYモードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータ（最大 63 文字）を 50 件まで記憶できます。
4桁の番号を入力しないと操作を行なうことができないパスワード機能があり、他人に見られたくないデータ保存に便利です。

ご注意

- パスワードを忘れると入力したデータを見ることができなくなります。パスワードは、別の形で書き留めておくことをおすすめします。
- 電池交換・修理などを行なった場合、入力したデータは保持されますが、パスワード機能は解除されます。

■パスワード機能について

●パスワードの登録（パスワード機能の設定）

1. セット状態にする

パスワード表示“PASS 0000”のとき、

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

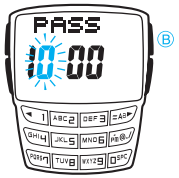


➡1 桁目が点滅します。

※ もう一度 Ⓐ ボタンを押すと、点滅が止まり、登録を途中でやめることができます。
※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります（この場合、パスワードは登録されません）。

2. パスワードを入力する

入力キーで、登録したいパスワードを入力します



➡入力キーを押すと、そのキーに印刷されている数字が表示されます。
※ 入力キーを押して数字を表示させると、点滅箇所が右に 1 つ移動します。
※ Ⓑ ボタンを押すと、入力した数字が消去されます。

■パスワード表示について

e - DATA MEMORY モードに切り替えた直後は、パスワード表示となります。

★パスワードを登録していない場合

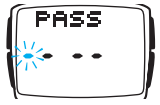
“PASS 0000”と表示されます。
➡Ⓓ ボタンを押すと、データ表示に切り替わります。
※“0000”のときは、パスワード機能は設定されていません。

★パスワードを登録している場合

“PASS - - - -”と表示されます（1 桁目が点滅）。
➡パスワードを入力してⒹボタンを押すと、データ表示に切り替わります。
※点滅表示のまま 2～3 分間すると、メニューモードに戻ります。



*パスワード未登録の場合

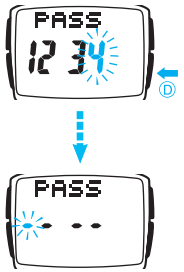


*パスワード登録済みの場合

3. 登録をする

4 桁の番号を入力しましたら、

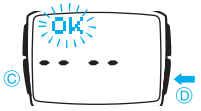
Ⓓ ボタンを押します



➡パスワードが登録されます。
※ 4桁の番号を入力後、Ⓓボタンを押さないとパスワードは登録されません。

4. セットを終わる

もう一度入力キーで、登録したパスワードを入力してから、Ⓓボタンを押します



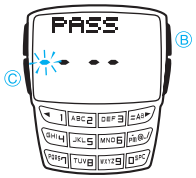
➡“PASS ⇔ OK”表示後、データを表示します。
※ 他のモードへ切り替えてから再びe - DATA MEMORYモードに戻ったときは、パスワード表示“PASS - - - -”となります。
※ Ⓒ ボタンを押すと、メニューモードに戻ります。

●パスワードの入力

1. パスワードを入力する

パスワード表示“PASS - - - -”のとき、

入力キーで、登録したパスワードを入力します



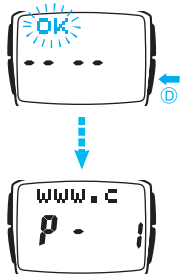
➡登録時と同様に、入力キーで数字を入力します。
※ Ⓑ ボタンを押すと、入力した数字が消去されます。

※“PASS - - - -”表示のときにⒸボタンを押すと、メニューモードに戻り、入力を途中でやめることができます。

2. データを表示させる

4 桁の番号を入力しましたら、

Ⓓ ボタンを押します



➡パスワードが合っているときは、“PASS⇔OK”表示後、データを表示します。
➡パスワードが間違っているときは、“PASS⇔ERROR”表示後、“PASS - - - -”表示に戻ります。もう一度手順1.から操作をやり直してください。

3. 切り替える

4 桁の番号を入力しましたら、

Ⓓ ボタンを押します

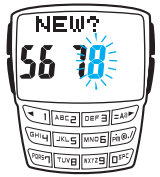


➡“NEW?”と表示されます。

※ パスワードが間違っているときは、“PASS⇔ERROR”表示後、“PASS - - - -”表示に戻ります。もう一度手順1.から操作をやり直してください。

4. 新しいパスワードを入力する

入力キーで、新しいパスワードを入力します

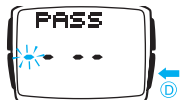


➡登録時と同様に、入力キーで数字を入力します。

5. 変更をする

4 桁の番号を入力しましたら、

Ⓓ ボタンを押します



➡パスワードが変更されます。
※ 4桁の番号を入力後、Ⓓボタンを押さないとパスワードは変更されません。

●パスワードの変更

一度登録したパスワードは、変更することができます（パスワードを変更しても、データに影響はありません）。

1. セット状態にする

パスワード表示“PASS - - - -”のとき、

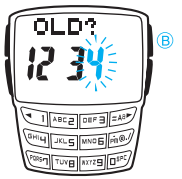
Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します



➡“OLD？”と表示されます。
※ もう一度 Ⓐ ボタンを押してから Ⓒ ボタンを押すと、メニューモードに戻り、変更を途中でやめることができます。

2. 現在のパスワードを入力する

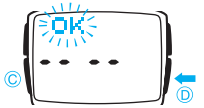
入力キーで、現在のパスワードを入力します



➡登録時と同様に、入力キーで数字を入力します。
※ Ⓑ ボタンを押すと、入力した数字が消去されます。

6. セットを終わる

もう一度入力キーで、新しいパスワードを入力してから、Ⓓボタンを押します



➡“PASS ⇔ OK”表示後、データを表示します。
※ Ⓒ ボタンを押すと、メニューモードに戻ります。

●パスワードの消去（パスワード機能の解除）

1. セット状態にする

パスワード表示“PASS　----”のとき、

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

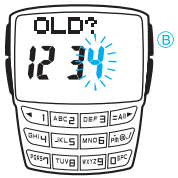


➡“OLD？”と表示されます。

※もう一度Ⓐボタンを押してからⓒボタンを押すと、メニューモードに戻り、消去を途中でやめることができます。

2. 現在のパスワードを入力する

入力キーで、現在のパスワードを入力します



➡登録時と同様に、入力キーで数字を入力します。

※Ⓑボタンを押すと、入力した数字が消去されます。

3. 切り替える

4 桁の番号を入力しましたら、

Ⓓ ボタンを押します



➡“NEW？”と表示されます。

※パスワードが間違っているときは、“PASS⇔ERROR”表示後、“PASS　----”表示に戻ります。もう一度手順1.から操作をやり直してください。

4. パスワードを消去する

入力キーで、“0000”を入力します



➡登録時と同様に、入力キーで“0000”を入力します。

5. セットを終わる

Ⓓ ボタンを押します



➡“PASS　0000”表示に戻り、パスワード機能が解除されます。

■データの入力

データを入力すると、順番に並び替え（**自動ソート***）が行なわれますので、データを探すときにたいへん便利です。

*自動ソート…記憶されたデータは先頭から比較し、自動的に整理されます。
比較順序は（空白）、数字（0～9）、アルファベット（A／a～Z／z）、記号（@.／!゛#$%&'()*+,－:;<=>?[＼]^_`{|}~）です。

1. メモリー残量を表示させる

データ表示のとき、

[SPC] キーを押します



➡メモリー残量を表示します（右図）。

※データが 1 件も入力されてないときも、“99%”と表示されます。

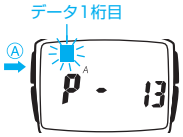
★“FULL”表示になるときは…

すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから再度セットを行なってください。

*「■データの修正／消去」参照。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します



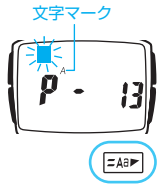
➡データの 1 桁目が点滅します。

3. 文字を入力する（最大 63 文字まで）

表示が点滅しているとき、以下の操作（a.～c.）を繰り返してデータを入力します。

a. 大文字／小文字を選ぶ

[=AB►] キーを押します



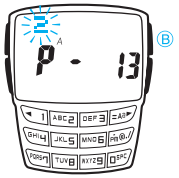
➡[=AB►]キーを押すごとに文字マークが切り替わります。

★文字マークについて

Aマーク＝数字、英大文字、記号が入力できます。
aマーク＝数字、英小文字、記号が入力できます。

b. 文字を入力する

入力キーで、セットしたい文字を入力します



➡入力キーを押すごとにそのキーに印刷されている文字が順番に表示されます。

※Ⓑボタンを押すと、点滅している文字が消去され、点滅箇所が左に 1 つ移動します。

※Ⓑボタンを約 1 秒間押すと、データが 1 件消去されます。



例）英大文字のとき、[ABC2]キーを押すごとに「2➡A➡B➡C➡2…」を表示します。

★入力できる文字について

数字	0～9
英大文字	A～Z
英小文字	a～z
記号	@.／!゛#$%&'()*+,－:;<=>?[＼]^_`{|}~

※記号は[PM@./]キーを押すごとに表示されます。

■データの修正／消去

1. 修正／消去したいページを選ぶ

データ表示のとき、

[◄1] または [=AB►] キーを押します



➡[◄1]または[=AB►]キーを押して修正／消去したいページを選びます。

※ダイレクトサーチでデータを呼び出すこともできます。

*ダイレクトサーチについては「●ダイレクトサーチ」参照。

2. セット状態にする

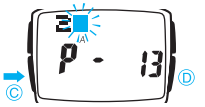
Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します



➡データの 1 桁目が点滅します。

c. 桁を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡点滅箇所が右に 1 つ移動します。

★入力を間違えたときは…

Ⓒボタンを押すと点滅箇所が右に1つ移動し、Ⓓボタンを押すと左に1つ移動します。点滅箇所がセット可能ですので、合わせたい箇所を点滅させ、正しい文字を入力します。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します



➡“SORT”表示後、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

3. 修正／消去する

データの修正➡Ⓒ または Ⓓ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、入力キーで正しい文字を入力します。

データの消去➡Ⓑ ボタンを約 1 秒間押します。“CLEAR”表示後、データが 1 件消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

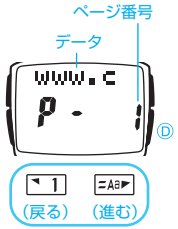
※データを消去すると、後ろのページが1ページずつ繰り上がります。

■ データのサーチ

●順送りサーチ

データ表示のとき、

[1]または[ÄÅ►]キーを押します



➡[1]または[ÄÅ►]キーを押すごとにページが切り替わります。

※押し続けると早送りします。

※データを6文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます。Ⓓボタンを押すと表示が止まり、もう一度Ⓓボタンを押すと動きだします。

●ダイレクトサーチ

データの頭文字(1文字)からデータを探すことができます。以下の入力キーを押すと、そのキーに印刷されている文字からはじまるデータを表示します。



例) [ABC2]キーを押すごとに「2➡A／a➡B／b➡C／c」からはじまるデータを表示します。

※入力キーを押すごとに次のデータをサーチします。

※探したい頭文字のデータが1件もない場合は、"Not Found"と表示されます。

※[pm@./]キーを押すと記号からはじまるデータをサーチします。

※0、1、空白からはじまるデータはダイレクトサーチで探すことができません。

■ メモリー残量を見る

データ表示のとき、

[SPC]キーを押します



➡メモリー残量を表示します(右図)。

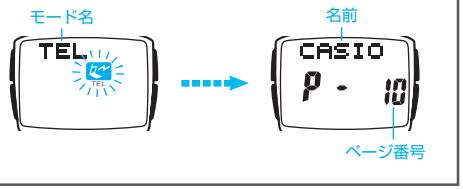
※データが1件も入力されてないときも、"99%"と表示されます。

※すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されているときは、"FULL"と表示されます。

※グラフ表示は、点灯していない部分がメモリー残量となります。

テレメモの使い方　以下の操作はテレメモモードで行ないます。

メニューモードのとき、[DEF3]キーを押してテレメモモードにします。



テレメモモードでは、名前(最大8文字)と電話番号(12桁)を300件まで記憶できます。

※テレメモモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■ テレメモデータの入力

データを入力すると、順番に並び替え(自動ソート*)が行なわれますので、データを探すときにたいへん便利です。

* 自動ソートの順番については「■データの入力」参照。

1. メモリー残量を表示させる

[SPC]キーを押します



➡メモリー残量を表示します(右図)。

※データが1件も入力されてないときも、"99%"と表示されます。

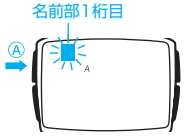
★"FULL"表示になるときは…

すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから再度セットを行なってください。

*「■テレメモデータの修正／消去」参照。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約1秒間押します



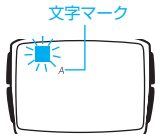
➡名前部の1桁目が点滅します。

3. 名前を入力する(最大8文字まで)

名前部が点滅しているとき、以下の操作(a.～c.)を繰り返して名前を入力します。

a. 大文字／小文字を選ぶ

[ÄÅ►]キーを押します

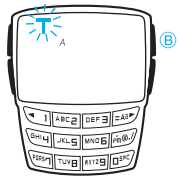


➡[ÄÅ►]キーを押すごとに文字マークが切り替わります。

* 文字マークについては「★文字マークについて」参照。

b. 文字を入力する

入力キーで、セットしたい文字を入力します



➡入力キーを押すごとにそのキーに印刷されている文字が順番に表示されます。

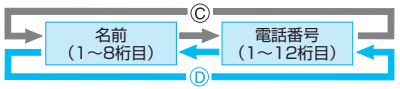
※Ⓑボタンを押すと、点滅している文字が消去され、点滅箇所が左に1つ移動します。

※Ⓑボタンを約1秒間押すと、データが1件消去されます。

* 入力できる文字については「★入力できる文字について」参照。

★入力を間違えたときは…

ⓒまたはⒹボタンを押すと、点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、合わせたい箇所を点滅させ、正しい数字を入力します。



6. 入力を終了する

Ⓐ ボタンを押します



➡"SORT"表示後、新規入力表示(名前部1桁目が点滅)になります。

※引き続き他のデータを入力することができます。

7. セットを終わる

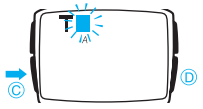
もう一度Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

c. 桁を選ぶ

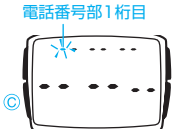
ⓒ ボタンを押します



➡点滅箇所が右に1つ移動します。

4. 電話番号の入力に切り替える

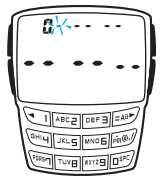
ⓒ ボタンを押します



➡ⓒボタンを何回か押して、電話番号部1桁目を点滅させます(右図)。

5. 電話番号を入力する(12桁まで)

入力キーで、セットしたい電話番号を入力します



➡入力キーを押すと、そのキーに印刷されている数字が表示されます。

※入力キーを押して数字を表示させると、点滅箇所が右に1つ移動します。

※[pm@./]キーを押すと"－"が表示されます。

※[ÄÅ►]キーを押すと空白となります。

■ テレメモデータの修正／消去

1. 修正／消去したいページを選ぶ

[1]または[ÄÅ►]キーを押します



➡[1]または[ÄÅ►]キーを押して修正／消去したいページを選びます。

※ダイレクトサーチでデータを呼び出すこともできます。

* ダイレクトサーチについては「●ダイレクトサーチ」参照。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約1秒間押します



➡名前部の1桁目が点滅します。

3. 修正／消去する

データの修正➡Ⓒ または Ⓓ ボタンをを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、入力キーで正しい文字を入力します。

データの消去➡Ⓑ ボタンを約 1 秒間押します。"CLEAR" 表示後、データが 1 件消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

4. セットを終わる

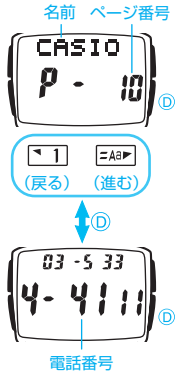
Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ データを消去すると、後ろのページが1ページずつ繰り上がります。

■テレメモデータのサーチ

●順送りサーチ

[1]または[=AB▶]キーを押します



➡[1]または[=AB▶]キーを押すごとにページが切り替わります。
※押し続けると早送りします。
※Ⓓ ボタンを押すごとに「名前・ページ番号」と「電話番号」とが切り替わります。
※名前を6文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます。

●ダイレクトサーチ

名前の頭文字（1 文字）からデータを探すことができます。以下の入力キーを押すと、そのキーに印刷されている文字からはじまるデータを表示します。



例）[ABC2]キーを押すごとに「2➡A／a➡B／b➡C／c」からはじまるデータを表示します。

※入力キーを押すごとに次のデータをサーチします。
※探したい頭文字のデータが 1 件もない場合は、"Not Found" と表示されます。
※[PRN@./]キーを押すと記号からはじまるデータをサーチします。
※0、1、空白からはじまるデータはサーチすることができません。

■メモリー残量を見る

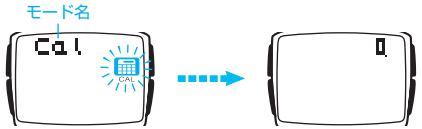
[SPC] キーを押します



➡メモリー残量を表示します（右図）。
※データが 1 件も入力されてないときも、"99%" と表示されます。
※ すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されているときは、"FULL" と表示されます。
※ グラフ表示は、点灯していない部分がメモリー残量となります。

計算機能の使い方 以下の操作は計算モードで行ないます。

メニューモードのとき、[=AB▶]キーを押して計算モードにします。



計算モードでは、置数、答えとも 8 桁（負数は 7 桁）で計算できます。
Ⓓ ボタンを押すごとに+、−、×、÷が表示され、計算過程が確認できます。

■基本計算

Ⓓ ボタンを押すごとに+、−、×、÷が表示されます。置数のクリアーは Ⓐ ボタンを 1 回押します。続けて Ⓐ ボタンを押すと、オールクリアーとなります。

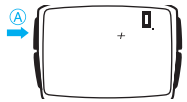
例題	操作	表示窓
53+123−63=113	53 Ⓓ 123ⒹⒹ 63=	53. + 176. − 113.
2.3×6×5.2=71.76	2.3ⒹⒹⒹ 6ⒹⒹⒹ 5.2=	2.3 × 13.8 × 71.76
89÷56=1.5892857	89ⒹⒹⒹⒹ 56=	89. ÷ 1.5892857
963×(23-56)=−31779	23ⒹⒹ56ⒹⒹⒹ 963=	−33. × −31779.
(56×3−89)÷5.2+63 =78.192307	56ⒹⒹⒹ3ⒹⒹ 89ⒹⒹⒹⒹ 5.2Ⓓ63=	168. − 79. ÷ 78.192307
123456×741852 ≒915億86080000	123456ⒹⒹⒹ 741852=	123456. × 915.8608E 億の位 エラー

※エラー（E）表示後、Ⓐ ボタンを押すとエラーが解除されます。もう一度 Ⓐ ボタンを押すと、表示されている数値が消去されます。

■計算途中の訂正のしかた

計算途中に数値を押し間違えたときは、Ⓐボタンを押してから正しい数値を入力します。

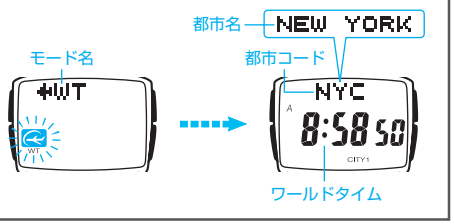
※Ⓐ ボタンを押すと、そのとき表示されている数値が消去され、それまでの計算に支障なく引き続き計算が行なえます。



ワールドタイムの使い方

以下の操作はワールドタイムモードで行ないます。

メニューモードのとき、[4 GHI]キーを押してワールドタイムモードにします。



ワールドタイムモードでは、世界100都市*（26タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

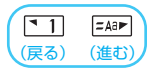
* 世界100都市は、アメリカ合衆国の標準時（CST／EST／MST／PST）と世界標準時（GMT）の時刻を含みます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動しています。
※時刻モードが24時間制のときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

■都市のサーチ

[1]または[ADJ]キーを押します





➡[1]または[ADJ]キーを押すごとに各都市の時刻を表示します。
※押し続けると早送りします。
※都市名を表示後、都市コードが表示されます。
※都市名が6文字以上のときは、右から左へ流れて表示されます。
※以下の入力キーを押すと、特定の都市へジャンプします。以後、[1]または[ADJ]キーで都市をサーチしていきます。

2 ABC=ABUDHABI	3 DEF=DAKAR
4 GHI=GMT	5 JKL=JAKARTA
6 MNO=MADRID	7 PQRS=PANAMA
8 TUV=TAIPEI	9 WXYZ=WARSAW

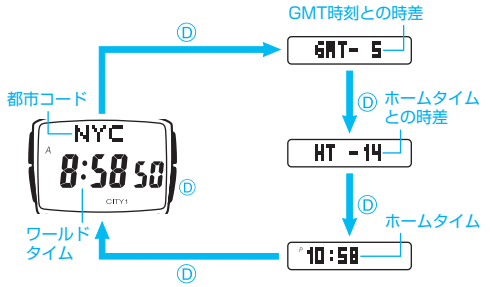
※以下の都市（地域）を選んだときは、該当のタイムゾーンインジケーターが点灯します。

ホームタイム都市＝HOME
世界標準時（GMT）＝GMT
CITY1に設定している都市＝CITY1
CITY2に設定している都市＝CITY2

■時差／ホームタイムを見る

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに表示内容が以下の順で切り替わります。



ご注意

ワールドタイムとホームタイムは連動しています。
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードのホームタイムおよびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

* ホームタイムデータの合わせ方については「■ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。

■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：[1]または[ADJ]キーを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約1秒間押します

➡Ⓐボタンを約1秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムをONにすると、DSTマークが点灯します。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、"GMT"表示のときはサマータイムの設定はできません。
※サマータイムのON／OFF設定は、時刻モードとワールドタイムモードで連動しています。



■都市一覧

	都市名	都市コード	時差	都市・地域
A	ABUDHABI	AUH	+4	アブダビ
	ADDISABB	ADD	+3	アディスアベバ
	ADELAIDE	ADL	+9.5	アデレード
	AMMAN	AMM	+2	アンマン
	AMSTERDM	AMS	+1	アムステルダム
	ANCHORGE	ANC	−9	アンカレジ
	ATHENS	ATH	+2	アテネ
	ATLANTA	ATL	−5	アトランタ
B	BANGKOK	BKK	+7	バンコク
	BEIJING	BJS	+8	ペキン（北京）
	BEIRUT	BEY	+2	ベイルート
	BERLIN	BER	+1	ベルリン
	BOGOTA	BOG	−5	ボゴタ
	BOSTON	BOS	−5	ボストン
	BRUSSELS	BRU	+1	ブリュッセル
	BUEAIRES	BUE	−3	ブエノスアイレス
C	CAIRO	CAI	+2	カイロ
	CAPETOWN	CPT	+2	ケープタウン
	CARACAS	CCS	−4	カラカス
	CASABLNC	CAS	0	カサブランカ
	CHICAGO	CHI	−6	シカゴ
	COLOMBO	CMB	+6	コロンボ
	COPENHGN	CPH	+1	コペンハーゲン
	CST	CST	−6	アメリカ合衆国の中部標準時（Central）
D	DAKAR	DKR	0	ダカール
	DALLAS	DFW	−6	ダラス/フォートワース
	DAMASCUS	DAM	+2	ダマスカス
	DELHI	DEL	+5.5	デリー
	DENVER	DEN	−7	デンバー
	DETROIT	DTT	−5	デトロイト
	DHAKA	DAC	+6	ダッカ
	DUBAI	DXB	+4	ドバイ
	DUBLIN	DUB	0	ダブリン
E	EST	EST	−5	アメリカ合衆国の東部標準時（Eastern）
G	GMT	GMT	0	グリニッジ標準時
H	HAVANA	HAV	−5	ハバナ
	HELSINKI	HEL	+2	ヘルシンキ
	HOCHIMIN	SGN	+7	ホーチミン
	HONGKONG	HKG	+8	ホンコン（香港）
	HONOLULU	HNL	−10	ホノルル
	HOUSTON	HOU	−6	ヒューストン
I	INDIANAP	IND	−5	インディアナポリス
	ISTANBUL	IST	+2	イスタンブール
J	JAKARTA	JKT	+7	ジャカルタ
	JEDDAH	JED	+3	ジェッダ
	JERUSALM	JRS	+2	エルサレム
	JOHANNES	JNB	+2	ヨハネスブルグ
K	KABUL	KBL	+4.5	カブール
	KARACHI	KHI	+5	カラチ
	KUALALUM	KUL	+8	クアラルンプール
	KUWAIT	KWI	+3	クウェート
L	LAGOS	LOS	+1	ラゴス
	LIMA	LIM	−5	リマ
	LONDON	LON	0	ロンドン
	L.A.	LAX	−8	ロサンゼルス
M	MADRID	MAD	+1	マドリード
	MANILA	MNL	+8	マニラ
	MEXICOCT	MEX	−6	メキシコシティ
	MIAMI	MIA	−5	マイアミ
	MOSCOW	MOW	+3	モスクワ
	MST	MST	−7	アメリカ合衆国の山岳部標準時（Mountain）
	MUMBAI	BOM	+5.5	ムンバイ
	MUSCAT	MCT	+4	マスカット
N	NAIROBI	NBO	+3	ナイロビ
	NEWORLNS	MSY	−6	ニューオーリンズ
	NEW YORK	NYC	−5	ニューヨーク
	NOUMEA	NOU	+11	ヌーメア
O	OSAKA	OSA	+9	大阪
	OSLO	OSL	+1	オスロ
P	PANAMA	PTY	−5	パナマ
	PARIS	PAR	+1	パリ
	PERTH	PER	+8	パース
	PHILDELP	PHL	−5	フィラデルフィア

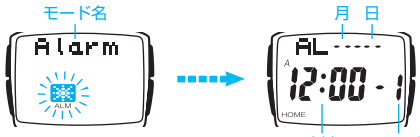
	都市名	都市コード	時差	都市・地域
	PHOENIX	PHX	−7	フェニックス
	PST	PST	−8	アメリカ合衆国の太平洋標準時（Pacific）
	PRAGUE	PRG	+1	プラハ
R	RIO	RIO	−3	リオデジャネイロ
	ROME	ROM	+1	ローマ
S	SANDIEGO	SAN	−8	サンディエゴ
	SAN FRAN	SFO	−8	サンフランシスコ
	SANTIAGO	SCL	−4	サンティアゴ
	SAOPAULO	SAO	−3	サンパウロ
	SEATTLE	SEA	−8	シアトル
	SEOUL	SEL	+9	ソウル
	SHANGHAI	SHA	+8	シャンハイ（上海）
	SINGAPRE	SIN	+8	シンガポール
	STOCKHLM	STO	+1	ストックホルム
	SYDNEY	SYD	+10	シドニー
T	TAIPEI	TPE	+8	タイペイ（台北）
	TEHRAN	THR	+3.5	テヘラン
	TOKYO	TYO	+9	東京

	都市名	都市コード	時差	都市・地域
	TORONTO	YTO	−5	トロント
	TRIPOLI	TIP	+2	トリポリ
V	VANCOUVR	YVR	−8	バンクーバー
	VIENNA	VIE	+1	ウィーン
W	WARSAW	WAW	+1	ワルシャワ
	WASHINTN	WAS	−5	ワシントン
	WELINGTN	WLG	+12	ウェリントン
Y	YANGON	RGN	+6.5	ヤンゴン
Z	ZURICH	ZRH	+1	チューリヒ

※この表は2001年12月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。
※本機で表示できる都市名は8文字までのため、8文字より長い都市名は省略名となっています。

アラーム・時報の使い方

メニューモードのとき、[JKL 5]キーを押してアラームモードにします。



■アラームの使い方

アラームモードでは、時・分・月・日とメモ（最大8文字）をセットできます。
セットした時刻になると20秒間電子音が鳴ります。
※アラームはホームタイムの時刻に合わせて鳴ります。

●アラームの種類

本機には、5本のアラームがあります。

●通常アラーム（アラーム1～アラーム4）
設定した時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

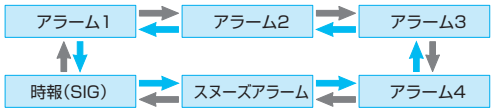
●スヌーズアラーム
設定した時刻になると、20秒間電子音が鳴り、5分おきに合計7回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。

●アラーム時刻とメモ内容を確認する

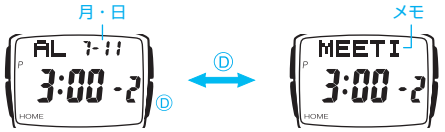
[1]または[=A@]キーを押します

➡[1]または[=A@]キーを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。





※[POWER]キーを押している間、表示上部にホームタイムが表示されます。
※アラーム表示のとき、Ⓓボタンを押すごとに表示内容が「月・日」と「メモ」とで切り替わります。
※メモを6文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます。



●アラームのセット

1. アラームを選ぶ

[1]または[=A@]キーを押します

➡[1]または[=A@]キーを押すごとに表示が切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。



2. セット状態にする

Ⓐボタンを約1秒間押します

➡10時台が点滅します。
※アラームマーク“))))”が点灯して、自動的にアラームがONになります。
※スヌーズアラームのときは、“SNZ”マークも点灯します。



3. 時・分・月・日をセットする

入力キーで、セットしたい時・分・月・日を入力します



➡入力キーを押すと、そのキーに印刷されている数字が表示されます。
※入力キーを押して数字を表示させると、点滅箇所が右に1つ移動します。

例）7月11日　8時5分…「08050711」
[0 SPC] [TUV 8] [0 SPC] [JKL 5]
[0 SPC] [PQRS 7] [1] [1]

★セット内容によるアラームの鳴り方

時・分・月・日のセットにより、アラームを鳴らすタイミングが選べます。

●毎日鳴らす➡「時・分」のみセット
●指定月に毎日鳴らす➡「月・時・分」をセット
●毎月同じ日に鳴らす➡「日・時・分」をセット
●指定月日に鳴らす➡「月・日・時・分」をセット

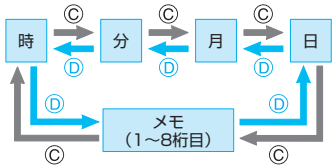
※月・日をセットしないときは、“－－”を表示させます。
※月・日が点滅しているとき、[PM@./]キーを押すと、“－－”が表示されます。“－－”を表示させた後は、Ⓒボタンを押して点滅箇所を移動させます。

★午前／午後切り替え

12時間制表示の場合は、「時・分」が点滅しているときに[PM@./]キーを押すと、午前（A）／午後（P）が切り替わります。
※時刻モードが24時間制のときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。
※アラーム時刻セットのとき午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

★入力を間違えたときは…

ⒸまたはⒹボタンを押すと、点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、合わせたい箇所を点滅させ、正しい数字を入力します。



4. メモを入力する（最大8文字まで）

メモ部が点滅しているとき、以下の操作（a.～c.）を繰り返してメモを入力します。

a. 大文字／小文字を選ぶ

[=A@]キーを押します

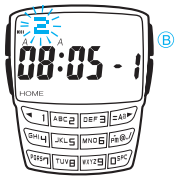
➡[=A@]キーを押すごとに文字マークが切り替わります。
＊文字マークについては「★文字マークについて」参照。



b. 文字を入力する

入力キーで、セットしたい文字を入力します

➡入力キーを押すごとにそのキーに印刷されている文字が順番に表示されます。
※Ⓑボタンを押すと、点滅している文字が消去され、点滅箇所が左に1つ移動します。



＊入力できる文字については「★入力できる文字について」参照。

c. 桁を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡点滅箇所が右に 1 つ移動します。



★メモの消去について

Ⓑ ボタンを約 1 秒間押すと、"CLEAR" 表示後、メモが消去されます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

●アラームの ON ／ OFF 設定

準備：[1]または[=A/B]キーを押して、設定したいアラームを選びます。

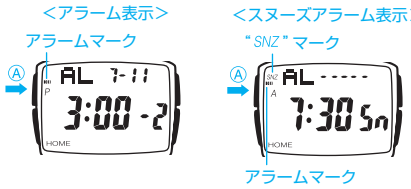
Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとにアラームの ON ／ OFF が切り替わります。

※ アラームマーク "))))" が点灯しているときが ON となり、アラームが鳴ります。

※ スヌーズアラームのときは、"SNZ" マークも点灯します。

<アラーム表示>　<スヌーズアラーム表示>



●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンまたはキーを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラームのときは、再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中は "SNZ" マークが点滅します）。

※「●アラームの ON ／ OFF 設定」の手順でアラームマークと "SNZ" マークを消すと、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

ご注意

●"SNZ" マーク点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報知を中断します。

（・時刻モードでセット状態に入ったとき。
・スヌーズアラームでセット状態に入ったとき。）

●時刻モードセット中、またはスヌーズアラームセット中にスヌーズアラーム時刻と一致した場合は、1 回のみ報音を行ないます。

●モニターアラーム

Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■時報の使い方

毎正時（00 分）に "ピッピッ" と電子音を鳴らすことができます。

※時報はホームタイムの時刻に合わせて鳴ります。

●時報の ON ／ OFF 設定

準備：[1]または[=A/B]キーを押して、時報表示（SIG）を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに時報の ON ／ OFF が切り替わります。

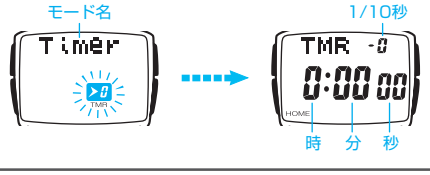
※時報マーク "🔔" が点灯しているときが ON となり、時報が鳴ります。

<時報表示>



タイマーの使い方　以下の操作はタイマーモードで行ないます。

メニューモードのとき、[MNO6]キーを押してタイマーモードにします。



タイマーモードでは、1 分単位で 24 時間までセットでき、1/10 秒単位で減算計測を行ないます。

セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10 秒間電子音が鳴ります。

タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■タイマー方法について

本機のタイマーは以下の 2 種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

* タイマー方法の選び方については「★タイマー方法を選ぶには…」参照。

●リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると、計測が止まります。約 10 秒後にタイマー時間表示に戻ります。
※リピートタイマーを選ぶと、"TMR" と表示されます。

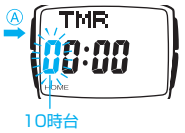
●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返し計測します。
※オートリピートタイマーを選ぶと、"TRI" と表示されます。

■タイマー時間のセット

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡10 時台が点滅します。



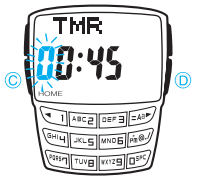
2. タイマー時間をセットする

入力キーで、セットしたいタイマー時間を入力します

➡入力キーを押すと、そのキーに印刷されている数字が表示されます。

※入力キーを押して数字を表示させると、自動的に点滅箇所が右に1つ移動します。

※ 1 分単位で 24 時間までセットできます。



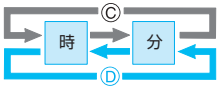
例）45 分　「0045」

2 時間 30 分　「0230」

24 時間　「0000」

★入力を間違えたときは…

Ⓒ または Ⓓ ボタンを押すと、点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、合わせたい箇所を点滅させ、正しい数字を入力します。



★タイマー方法を選ぶには…

Ⓑ ボタンを押します

➡表示が点滅しているとき、Ⓑ ボタンを押すごとにリピートタイマーとオートリピートタイマーが切り替わります。

※リピートタイマー=TMR
オートリピートタイマー=TRI



3. セットを終わる

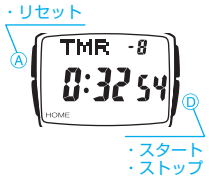
Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※[PORT] キーを押している間、表示上部にホームタイムが表示されます。

★計測ストップ後、Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。

★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度Ⓓボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10 秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

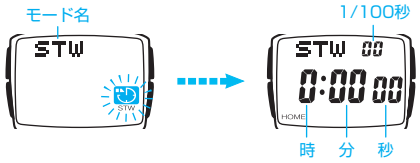
■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンまたは入力キーを押すと、音が止まります。

ストップウオッチの使い方

以下の操作はストップウオッチモードで行ないます。

メニューモードのとき、[A/M] キーを押してストップウオッチモードにします。



ストップウオッチモードでは、1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。
計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※[PORT] キーを押している間、表示上部にホームタイムが表示されます。

★計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります（"SPL"表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

● 1・2 着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット